

令和元年度 ランチミーティング 議事録

日 時	令和元年 10 月 8 日（火）12:00～13:00 まで
場 所	精道小学校 ランチルーム
参 加 者	21 名
行政出席者	いとう市長, 佐藤副市長, 福岡教育長

意見交換の概要は、次のとおりです。

★調査結果等補足説明については、当日発言内容と区別するため【⇒赤字】で表示しています。

★いただいたご意見等はそのまま記載していますので、実際の状況と異なるものもあります。

【ご質問・ご意見等】	
1	<p>（質問・ご意見）</p> <p>ふるさと納税で減収になっている。今後10年間で更に減収すると思われる。制度のあり方も含め、今後についてどう考えているか。</p> <p>（市からの説明・回答）</p> <p>ふるさと納税の減収問題は認識しています。今年度から市民への返礼品制度はなくなりましたが、ふるさと寄附は引き続きしていただけるので、PRしていきます。また、国にも制度の改善を要望していきます。</p>
2	<p>（質問・ご意見）</p> <p>先日、焼却場の水銀濃度の問題があった。ゴミの分別ができていない世帯がある。日本語対応が困難な人向けに外国語対応したハンドブックなどはあるのか。</p> <p>（市からの説明・回答）</p> <p>この度のゴミ焼却施設の件では、皆さまにご協力をいただき心から感謝しています。外国語対応のハンドブックも作成しています。市民全体の意識の向上をお願いしたいと考えています。今後の対策として、万が一、焼却ごみに水銀が混じっても水銀が排出されない対策を講じました。</p>

【ご質問・ご意見等】	
3	<p>(質問・ご意見) 幼児教育, 小学校低学年の教育で多様な考え方を有てる感性を磨くことが大事と考える。食育には五感のうち3つが含まれる大切な教育である。教育に対して予算も含めて力を入れて欲しい。</p> <p>(市からの説明・回答) 食育については力を入れていきます。文化に触れるなど, 実体験を大事にしていく教育を基本に, 日常生活で感性を磨くようにしていきます。</p>
4	<p>(質問・ご意見) 学校の警備について, 電子錠の導入は考えられないのか。</p> <p>(市からの説明・回答) 教員の働き方改革や安心安全も踏まえてどのような形がいいのか, 様々な観点から考えていきます。</p>
5	<p>(質問・ご意見) 有機野菜を使った給食を含め地域に広めて欲しい。</p> <p>(市からの説明・回答) できるだけ, 有機野菜を使うように意識して取り組んでいきたいと思いません。</p>
6	<p>(質問・ご意見) 有機農家によるファーマーズマーケットのようなマルシェを公民館・公園などの空きスペースで開催する機会が欲しい。</p> <p>(市からの説明・回答) 10月に総合公園のオータムフェスタでマルシェを開催しました。市の関わり方については担当課と研究していきます。 ⇒地域の活性化を目的として総合公園や宮塚公園では, 営利を目的とはしないマルシェ等を開催していただいております。</p>
7	<p>(質問・ご意見) 芦屋のこどもは朝ごはんをちゃんと食べているのか。</p> <p>(市からの説明・回答) 食べていないお子さんも若干います。授業や給食の時間を通して, 規則正しい食生活を心がけるよう声をかけています。</p>

【ご質問・ご意見等】	
8	<p>(質問・ご意見) 南海トラフ地震があったときの被害状況はどうなるのか。死者0になるように努力して欲しい。</p> <p>(市からの説明・回答) 本市は山も海もあり，両方から対策が必要です。昨年度，高潮被害があり護岸のかさ上げで対応し，間もなく工事に着工できる予定です。ソフト面では自助・共助・公助が大切です。まず3日分の非常食を家庭で準備していただきたい。被災時の協定を様々な団体と結んでおり，災害時に対応できるように整えていきます。</p>
9	<p>(質問・ご意見) 財政が特別豊かではない中で，市民の理解は必要だがサービスの見直しについて具体的な施策があるのか。</p> <p>(市からの説明・回答) スクラップ&ビルドで事業を見直していきます。違法駐輪対策では年間約900万円程度の費用がかかっています。コスト縮減のためには，市民お一人お一人がルールを守って生活してくださることも大切で，芦屋のイメージ向上にも繋がる。市民が誇りをもって生活して欲しいと考えています。</p>
10	<p>(質問・ご意見) 芦屋市の高齢化が進み，魅力を感じないため若い人が住みたがらないのではないか。</p> <p>(市からの説明・回答) 子育て施策については，他市と比べても手厚くできていると考えているので，PRしていきます。</p>
11	<p>(質問・ご意見) 障がい者が地域に交われる場が欲しい。</p> <p>(市からの説明・回答) いろいろな方が集まれる居場所づくりに関しては，時間はかかると思いますが，考えていきます。 →高浜町ライフサポートステーションでは，世代等を問わず交流できる事業を実施しています。</p>